

米国環境保護庁
ワシントン, D.C.20460

大気放射局

2016年3月21日

ENERGY STAR® テレビジョンブランドオーナーもしくはその他の関係社各位

このレターをもって、米国環境保護庁(EPA)は ENERGY STAR テレビジョン製品の基準を、製品やコンテンツ配信に関するフィードバックに基づいて更新を提案する。

世帯の大多数は、もはや、テレビ番組をアンテナを介して空中から受信し、製造事業者はこの潮流にチューナーなしの製品設計（高度テレビジョンシステム委員会規格で指定）で対応している。チューナーがないこれらの製品は「テレビ」とは見なされず、現行の ENERGY STAR バージョン 7.0 の対象に含まれない。しかし、EPA は効率的な技術の促進に、コンテンツ配信に関係なく注目している。

そのため、EPA は、新しいホームシアターディスプレイ定義を ENERGY STAR のテレビジョン基準に追加し、新しいチューナーのない製品をカバーする。以下：

1. テレビジョン(TV)：既存のバージョン 7.0 の文章を残し、連邦規格(10 CFR 430.2「動的に映像を生成するように設計された製品は、内部チューナーを製品筐体内に含み、動的にビジュアルコンテンツを受信する」)に整合する。
2. ホームシアターディスプレイ(HTD)：新しい定義を追加：「対角可視画面サイズが 25 インチ以上であり、動的に映像を生成するように設計され、内部チューナーを製品筐体内に含まず、ホームシアター用途として市販され、動的なビジュアルコンテンツを受信する製品」

現行の TV の定義と同様に、HTD は有線または無線で動的なビジュアルコンテンツを受信ことができ、ディスプレイ固有のデータ接続（例 HDMI）、メディア記録装置やネットワークに制限されることはないだろう。EPA はバージョン 7.1 への基準更新を提案し、HTD は、コンピュータモニターまたはサイネージディスプレイといった ENERGY STAR のディスプレイ基準には含まれないことになる。EPA は関係者によるディスプレイ製品との違いや使用に関するフィードバックを歓迎する。

最後に、現行のホスピタリティ・テレビジョン製品カテゴリーは、「ホスピタリティ・テレビジョン/ホームシアターディスプレイ」となり、定義は HTD を含むように拡張し、他に変更を加えることはないだろう。EPA はチューナーの有無によるエネルギー消費の違いを予想せず、現行のバージョン 7.0 適合基準が TV と HTD 両方に適用することも提案しない。その他の変更は、この時点では提案できない。

関係者のコメントは televisions@energystar.gov へ 2016 年 4 月 4 日までにメールすること。アップデートに関するドキュメント、草案及びバージョン 7.0 の素材は ENERGY STAR ウェブに掲載している。

http://www.energystar.gov/products/spec/televisions_specification_version_7_0_pd.

本仕様書もしくは TV に関する質問は、私 (202) 343-9845 または radulovic.verena@epa.gov または Matt

Malinowski (202) 862-2693 または matt.malinowski@icfi.com.に連絡のこと。

ENERGY STAR への継続的な協力に感謝する。

Best Regards,

Verena Radulovic, Product Manager

ENERGY STAR for Consumer Electronics

別添資料:

バージョン 7.1 ENERGY STAR TV 適合基準 草案